

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【公開番号】特開2010-169259(P2010-169259A)

【公開日】平成22年8月5日(2010.8.5)

【年通号数】公開・登録公報2010-031

【出願番号】特願2009-296548(P2009-296548)

【国際特許分類】

F 1 6 L	59/02	(2006.01)
B 3 2 B	7/02	(2006.01)
D 0 6 M	23/08	(2006.01)
D 0 6 M	11/77	(2006.01)
D 0 6 M	11/46	(2006.01)
D 0 6 M	11/79	(2006.01)
F 1 6 L	59/06	(2006.01)
E 0 6 B	9/24	(2006.01)

【F I】

F 1 6 L	59/02	
B 3 2 B	7/02	1 0 5
D 0 6 M	23/08	
D 0 6 M	11/77	
D 0 6 M	11/46	
D 0 6 M	11/79	
F 1 6 L	59/06	
E 0 6 B	9/24	Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月28日(2011.12.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項5】

柔軟性熱絶縁体が、曲率半径1000mm以下の屈曲性を有するものからなることを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載の柔軟性熱絶縁体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

柔軟性熱絶縁体が、前記支持体に接合する前及び後又は接合時に固形状となる部材からなることを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載の柔軟性熱絶縁体。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0013】

また、請求項5の発明は、柔軟性熱絶縁体が、曲率半径1000mm以下の屈曲性を有するものからなることを特徴とする。

## 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0014】

また、請求項6の発明は、柔軟性熱絶縁体が、前記支持体に接合する前及び後又は接合時に固形状となる部材からなることを特徴とする。